

矢藤 優子（立命館大学総合心理学部教授）

矢藤 皆さん、こんにちは。立命館大学総合心理学部の矢藤と申します。よろしくお願いたします。これから第3部のシンポジウム、「縦断研究のこれまでとこれから：科学的根拠に基づく対人援助をめざして」というタイトルで発表をしていただきたいと思います。初めに、パネリストの菅原ますみ先生に縦断研究の基本的なお話を含めた、



これまでのご研究についてご紹介いただいたあと、筑波大学の安梅勅江先生にお話しいただき、最後にコーディネーターである矢藤が、これからこの茨木を中心に展開していこうとしているコホート研究についてのお話をしたいと思います。

パンフレットのリード文のほうにも書かせていただきましたが、縦断研究は、そのためにかかる時間やコスト、分析方法の複雑さなど多くの理由から、成功例は多くないのが日本の現状です。でも、人の発達のすじみちを知るには欠かせない研究方法で、大事なことだと思うので、そのような研究を成功させてこられた先生方のお話をまずうかがって、学ばせていただきたいと思います。では菅原先生、よろしくお願いたします。